

岳都大町に、雪山のスペシャリストが集結！

雪山を知り尽くした御三方が、
それぞれの立場から雪山の魅力を語る

見上げている北アルプスの 雪山、扉のむこうへ

定員

50名

参加費 450円
(入館料)

2020年10月10日(日)

開場 13:00 開演 13:30

会場 大町山岳博物館 講堂

同時開催
テント
フェア

9:00~16:30
予定

第1部

13:30~13:55

山岳博物館企画展 スペシャルガイド

ガイド

市立大町山岳博物館 館長 鈴木啓助氏

第2部

14:00~14:40

映像紹介

雪を纏った北アルプスの山々

-1- 後立山 白馬岳、鹿島槍ヶ岳のバリエーションルート
-2- 剣岳 厳冬の剣岳登頂

第3部

14:45~15:30

トークセッション ～雪に魅せられて～

パネラー

市立大町山岳博物館 館長 鈴木啓助氏

日本山岳ガイド協会特別顧問 降旗義道氏
前白馬山案内人組合長

ファシリテーター

東京都山岳連盟副会長 廣川健太郎氏
アイスクライミング編著

雪氷のことを学問として学び、教えてこられた鈴木館長、冬から春、雪とともにある白馬で生まれ育ち、登山そしてスキーのスペシャリストとしてガイドである降旗氏、凍った滝など雪山に登るため遠く山に足を運ぶ廣川氏、それぞれ立場からの雪、雪山の魅力について語り合い、ご来場の皆さまからの質問もお受けします。

お問合せ

一般社団法人木崎まちづくりラボ

info@kizaki-lab.com



お申込み

https://forms.gle/R4VJyi5HZ3xaweWm7

当日受付で参加費(入館料)をお支払いください。



鈴木啓助氏

2019年4月大町市立山岳博物館長に就任。信州大学 名誉教授・特任教授でもある。東京理科大学理学部助手を経て1996年より信州大学理学部助教授、2002年より教授。専門は水文学、雪氷学、山岳環境学。南極をはじめ7大陸で雪や氷、気象などの調査を経験。著書「雪と氷の世界から届いた地球温暖化の話」(山岳科学ブックレット2)

降旗義道氏

白馬村に生まれ育ち、南米アンデスの難峰パイネ・ノルテに初登頂し、ヨーロッパ・アルプスやヒマラヤ遠征を重ねた経験豊富な登山家。山岳スキーのスペシャリストとして山とスキーの接点を活かして活躍。白馬山案内人組合前組合長として長く牽引。(公社)日本山岳ガイド協会特別顧問・前副会長、著書「実践山スキー」(山と溪谷社)



廣川健太郎氏

(公社)東京都山岳連盟副会長兼専務理事。1979年19歳でヒマラヤ・ダウラギリII峰(7751m)登頂。大学卒業後は通信会社に勤めながら一年を通じ山に登る。中でも滝が凍った氷瀑を数多く登攀。2009年冬のマッターホルン北壁を完登。著書「アイスクライミング」(白山書房)、山溪アドヴァンスガイド「雪の白馬鹿島槍」「雪の剣立山連峰」他多数。

主催 一般社団法人木崎まちづくりラボ

共催 市立大町山岳博物館 株式会社カイルス・ジャパン

後援 大町市 日本山岳救助機構(JRO)